

2018年3月期 第1四半期 決算補足資料

2017年7月31日
日本ケミファ株式会社
東証1部(4539)

Contents

連結損益計算書概要	1
医療用医薬品概況(連結)①	2
医療用医薬品 主要品目の状況	
ジェネリック医薬品事業	
医療用医薬品概況(連結)②	3
ジェネリック医薬品 発売年度別売上	
医療用医薬品 薬効別売上構成比	
財務状況の概略(連結)	4
貸借対照表概要	
1株あたり情報	
設備投資等	

連結損益計算書概要

※1 返品調整引当金等の影響を含めております。

■ 連結損益計算書概要

(百万円)

	2017年3月期実績			2018年3月期実績			2018年3月期業績予想			
	第1四半期	構成比	通期	第1四半期	構成比	前年同期比	第2四半期	進捗率	通期	進捗率
売上高	8,805	100%	35,689	8,741	100%	△ 0.7%	18,700	46.7%	38,000	23.0%
医薬品事業	8,678	98.6%	34,551	8,661	99.1%	△ 0.2%	—	—	—	—
その他	126	1.4%	1,137	80	0.9%	△ 36.9%	—	—	—	—
売上原価※1	4,793	54.4%	19,449	4,744	54.3%	△ 1.0%	—	—	—	—
販管費	3,224	36.6%	13,403	3,407	39.0%	+5.7%	—	—	—	—
内、研究開発費	416	4.7%	1,984	459	5.3%	+10.2%	—	—	2,350	19.5%
営業利益	787	8.9%	2,836	589	6.7%	△ 25.1%	1,300	45.4%	2,500	23.6%
経常利益	651	7.4%	2,849	590	6.8%	△ 9.3%	1,250	47.2%	2,400	24.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	462	5.3%	2,054	408	4.7%	△ 11.8%	800	51.0%	1,550	26.3%

Highlights

売上高について

ジェネリック医薬品については市場成長の頭打ち感がみられることに加え、オーソライズド・ジェネリックの台頭などの影響を受けて競争環境は激化しており、前年同期比+3.7%の増収と、当初予想をやや下回る伸びに留まりました。

主力品については同△11.1%の減収となり、ジェネリック医薬品への置換による影響などを織り込んだ当初想定どおりの推移となっており、医療用医薬品の売上高は8,000百万円、医薬品事業全体の売上高は8,661百万円(同△0.2%減収)となりました。

以上の結果、その他セグメントを含めた連結売上高は前年同期並みの8,741百万円(同△0.7%減収)となりました。

利益面について

原価については高品質で安価な原薬への切り替えなどの取り組みを継続しており、原価率は54.3%と前年同期比で△0.1ポイント低下させることができました。一方、販売管理費については、当初予定のとおり、主にベトナム工場での商業生産開始(2018年度予定)に向けた試験運転費用の計上や、新薬およびジェネリック医薬品の研究開発費用の増加に伴って伸びており、販管費率は39.0%と前年同期比で+2.4ポイント上昇しました。

以上の結果から、営業利益はほぼ当初計画どおりの589百万円(前年同期比△25.1%減収)となっております。

医療用医薬品概況(連結)①

※1 当社グループで製造販売承認を有する品目の他メーカー向け売上
 ※2 他メーカーからの受託製造による売上

■医療用医薬品 主要品目の状況

(百万円)

	2017年3月期実績			2018年3月期実績			2018年3月期予想	
	第1四半期	構成比	通期	第1四半期	構成比	前年同期比	通期	進捗率
医療用医薬品	7,804	100.0%	31,513	8,000	100.0%	+2.5%	34,700	23.1%
ジェネリック医薬品(荷離)	7,202	92.3%	29,204	7,465	93.3%	+3.7%	32,600	22.9%
内、自社販売	6,983		27,808	7,165		+2.6%	31,300	22.9%
内、導出 ^{※1} ・輸出	219		1,395	300		+37.3%	1,300	23.1%
アムロジピン	730		2,865	727		△ 0.3%	3,100	23.5%
ランソプラゾール	593		2,279	560		△ 5.6%	2,300	24.4%
ドネペジル	444		1,642	394		△ 11.2%	1,700	23.2%
ラベプラゾール	406		1,586	394		△ 2.7%	1,700	23.2%
リマプロストアルファデクス	383		1,469	364		△ 5.1%	1,500	24.3%
プラバスタチン	302		1,173	289		△ 4.4%	1,200	24.1%
ボグリボース	252		957	231		△ 8.7%	950	24.3%
その他	4,089		17,229	4,503		+10.1%	20,150	22.4%
主力品	601	7.7%	2,308	534	6.7%	△ 11.1%	2,100	25.5%
ウラリット	380		1,409	317		△ 16.6%	1,220	26.0%
ソレトン	165		679	151		△ 8.3%	670	22.6%
カルバン	55		219	65		+17.6%	210	31.3%

■ジェネリック医薬品事業

(百万円)

	2017年3月期実績			2018年3月期実績			2018年3月期予想	
	第1四半期	構成比	通期	第1四半期	構成比	前年同期比	通期	進捗率
ジェネリック医薬品事業	7,543	100.0%	30,445	7,756	100.0%	+2.8%	34,000	22.8%
ジェネリック医薬品(荷離)	7,202	95.5%	29,204	7,465	96.3%	+3.7%	32,600	22.9%
受託 ^{※2}	340	4.5%	1,240	290	3.7%	△ 14.7%	1,400	20.8%

医療用医薬品概況(連結) ②

■ジェネリック医薬品 発売年別売上

(百万円)

	2017年3月期実績		2018年3月期実績		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	増減率
2011年3月期以前発売品目	4,928	68.4%	4,845	64.9%	△ 1.7%
2012年3月期発売品目	610	8.5%	562	7.5%	△ 7.8%
2013年3月期発売品目	363	5.0%	353	4.7%	△ 2.6%
2014年3月期発売品目	669	9.3%	766	10.3%	+14.5%
2015年3月期発売品目	396	5.5%	491	6.6%	+23.9%
2016年3月期発売品目	225	3.1%	291	3.9%	+29.2%
2017年3月期発売品目	8	0.1%	95	1.3%	約11倍
2018年3月期発売品目	—	—	58	0.8%	—
合計	7,202	100.0%	7,465	100.0%	+3.7%

■医療用医薬品 薬効別売上構成比

	2017年3月期実績	2018年3月期実績
	第1四半期	第1四半期
循環器官用薬および呼吸器官用薬	31.6%	31.8%
消化器官用薬	20.2%	18.9%
代謝性医薬品	16.3%	16.7%
神経系および感覚器官用薬	10.5%	9.1%
病原生物用薬	6.3%	6.0%
腫瘍用薬	3.1%	3.5%
その他の医薬品	12.0%	14.0%

財務状況の概略(連結)

■貸借対照表概要

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期	
	3月末		6月末	増減
総資産	47,002		48,594	+1,592
純資産	17,355		17,569	+213
自己資本	17,346		17,559	+212
自己資本比率	36.9%		36.1%	△ 0.8P
流動資産	29,009		29,929	+920
流動負債	14,939		16,684	+1,744
流動比率(倍)	1.94		1.79	△ 0.15P

設備投資額について

設備投資については、2018年に稼働開始を予定している、日本ケミファベトナムの現地工場において、当第1四半期に機械装置の搬入・据付けを実施したことなどから費消率が高くなっていますが、通期では当初予想の範囲に収まる見通しです。

■1株あたり情報

(円)

	2017年3月期		2018年3月期		
	第1四半期	通期	第1四半期	前年同期増減	通期予想※
1株あたり四半期(当期)純利益	118.37	530.02	107.09	△ 11.28	399.89
	6月末	3月末	6月末		通期予想※
1株あたり純資産	4,106.51	4,548.80	4,604.58	—	—
1株あたり配当金	—	100.00	—	—	100.00
(参考)連結配当性向	—	18.9%	—	—	25.0%

■設備投資等

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	増減率	通期予想	費消率
設備投資額	370	2,928	772	+108.4%	1,550	49.8%
減価償却費	253	1,112	263	+4.3%	1,350	19.5%

